



長崎開港 450 周年

SINCE 1571

市民セミナー 2021 No. 2

禁教令と共存した浦上潜伏キリシタン

1614 年に発布された徳川幕府の全国的キリシタン禁教令。その徹底した禁教対策の下、250 年にも渡り浦上に潜伏したキリシタンは、如何にしてその信仰を守り抜いたのでしょうか。

長崎奉行所の犯科帳やキリシタンに関わる古文書などを紐解いていくと、そこには対立することなく、時にかいくぐり、時に上手く付き合いながら、禁教令と共存して信仰を守り続けた浦上潜伏キリシタンの姿がみえて来ます。

ポルトガル人のキリスト教布教と貿易をきっかけに開港した長崎の 450 年の歴史の中で、浦上キリシタンが果たしたその 250 年の歴史は、1865 年の世界が驚く「信徒発見」につながったことを考えても、非常に貴重な歴史だと考えます。

長崎の歴史にお詳しい村崎春樹氏に語っていただきます。

◆日時 : 2021 年 5 月 1 日 (土) 13:30~15:00

◆会場 : 浦上キリシタン資料館コミュニティースペース
長崎市平和町 1 1-1 9 TEL:095-807-5646

◆講演 : 村崎 春樹 (長崎近世文書研究会事務局長)



昭和 21 年(1946)長崎市生まれ。昭和 40 年(1965)三菱技術学校卒業後、三菱長崎造船所で品質管理、物流管理、購買業務などに従事。定年退職後、上戸町にあった長崎一族の墓に興味を抱いたのをきっかけに長崎の歴史研究を始める。長崎のさるくガイド、長崎史談会副会長、長崎学ネットワーク会議理事、長崎近世文書研究会事務局長などを歴任した。長崎文化協会「長崎文化」に「長崎港の歴史」を、すこやか長寿財団「そよかぜ」に「長崎県の歴史」を寄稿。各地で長崎学講座を開催、各テレビ局の特集などに出演し、その活動の幅を広げている。

◆参加費 : 500 円 ◆定員 : 新型コロナウイルス対策のため 20 名で〆切

◆お申し込み : 浦上キリシタン資料館 TEL : 095-807-5646

※お名前とご連絡先をご連絡ください。

◆企画・問い合わせ : NPO 法人  アジェンダNOVAながさき

～長崎の文化を考える会～ <http://feature.jp/agenda>

代表 林田慎一郎 090-7923-7435 linden@ae.wakwak.com